TIFA会報

Tachikawa International Friendship Association

ホームページ　http://tifa-class.net/

外国人に日本語を教えるボランティア団体

2019年1月17日
Vol.137（隔月発行）
立川国際友好協会
発行責任者　齋藤 實
編集責任者　小林 保

一人一人を丁寧に見つめる力を

会長　齋藤　實

来日した外国人に対し、生活用語を基本としたコミュニケーション能力の向上を支援する目的で、スタートしたＴＩＦＡの活動も２７年目を迎えました。

生産年齢人口が低減している我が国の現状を考えると、有能な外国人労働力に依存せざるをえない現実があります。今後ますます外国人労働者が増加することが予想されます。

この事は、我々の日本語教室の受講生が増えていくことを意味し、立川市の委託事業であるボランティア活動として、ますます重要性や必然性が高まることになります。外国人が、立川市に居住して良かったと、安心して安全に生活できるように私たちのボランティア活動は、使命感を持たなければなりません。

現在約８０名の登録ボランティアが、毎週木曜日の午前中教室と土曜日毎の夜間教室２教室と合計３教室を年間４０回、３学期制で開講しており、年間延べ２５００人、30ケ国の受講生を受け入れております。

日本語教育を基本としながらも、市内各小学校との交流活動や、自由で気軽にお茶のみ話の出来る外国人のたまり場サロン「えんがわ」を開設して4年目を迎えます。このように、活動の広がりも見せております。

最近の受講生の動向をみると、全くの初心者をはじめ、就学児童と親子での来校や技能実習生の企業からの依頼など、ネットで無料教室ということを知って来校するケースも多く、多様性と広域化が見られます。

このように、複雑化していく今後のＴＩＦＡ活動に、対処していくためには一人一人の受講者に対して、より丁寧に寄り添い、個々人を見つめる力を高めることが必要です。受講者の願いや要望をよく聞きだし、それに沿った指導計画をくみたてるコミュニケーションを十分に取りながら、日々の指導に当たるべきと希望しております。ＴＩＦＡのボランティア活動の原点は、日本語教育を通じた人間的交流活動であることを改めて再認識した多文化共生社会の実現です。

土曜教室スピーチ大会

１１月１７日に土曜教室スピーチ大会を実施しました。１１か国２２名の受講者が発表に挑戦し、熱心にスピーチを行いました。初中級と上級の二つの教室に分かれて緊張したムードの中で進められましたが、発表者の思いに溢れた内容は、出席者に感動を与えました。質問タイムに交わされる応答や会話には、大きな笑いが起こるなど、賑やかな場面も見られました。今回のスピーチ大会は、一か月以上前から原稿作成に取り掛かってもらい、ボランティア講師には添削指導をお願いしました。スピーチには日本語学習の４技能が凝縮されているので、その学習意義を確認しながら、発表までの過程を大切にしてきました。結果は期待通りの立派な出来栄えだったと思います。来年度はまた、更に充実したスピーチ大会にしていきたいと思っています。

＜発表テーマ＞

「自己紹介」「私の町から日本へ」「日本へ来た理由」「ブラジルと日本の違い」「日本語勉強の体験談」「和食と洋食の歴史」「日本に来て楽しかったこと」「中国の誕生日」「日本での一年間」「中華料理」「日本語の勉強をして得た仕事」「防災訓練・日米の違い」「ペルーの文化」「歴史と文化財」「コンピューターゲームと私」「私とベトナム」「私の夢（アニメ）」「日本と中国の文化」「日本での会社生活」「日本の古典の楽しさ」

イヤーエンドパーティー

12月22日（土）、恒例のイヤーエンドパーティーを柴崎学習館地下１階の講堂で開催しました。かつての受講生が何組もの家族・友人連れで参加してくれ、ボランティアと受講生の参加者数は子供を含め 134名となりました。TIFAとして本当に喜ばしいことです。昨年と同様に演目を観賞するスタイルから、全員が参加するような試みで企画されました。

17：30に開宴し20：30に終了しましたが、早く帰る人のため、抽選会の景品を19：30から受取れるようにしました。朝早くから料理、会場の設営、景品の準備をされた方々、有難うございました。お陰様で楽しく過ごすことができました。

今年の夏、社交ダンス講習会を開催しましたよ。

ミニレク　じゃんけん列車

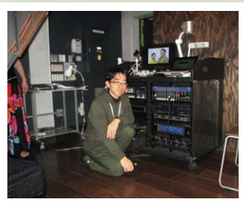
さあ～
みんなでサルサ
ダンスを踊ろう

今年も、最後はみんなで東京音頭を踊りました。

朝から食事の準備や調理を
有難うございました。

皆さまのご協力により
会場の準備ができました。

受付を担当しました。



舞台の陰で音響や照明の
調整に奮闘しました。

お疲れ様でした。楽しかったです。
スタッフのみなさん有難うございました。

日本語は難しい？

現在、日本語を学ぶ外国人は約３００万人いるといわれています。日本語は、ひらがな、カタカナ、漢字と3種類の文字があり、文法的にも曖昧な言い回しやニュアンスがあるため、この難しい日本語に四苦八苦しています。具体的に何が難しいのでしょうか。日本語を難しいと感じるところを列記しました。

（1）漢字の数が多い

中国など漢字を使うアジアの国の人なら親しみやすいでしょうが、アルファベットしか使わない国の人にとっては漢字を覚えるのは大変なことです。

（2）ニュアンスが難しい

日本語には他の言葉に訳す事のできない微妙なニュアンスの言葉が多いです。「よろしくお願いします」、「恐れ入ります」、「お邪魔します」、「お疲れさま」などは、長く日本に住んで実際に何度も耳にしないと使い方が分からないのです。

（3）尊敬語、謙譲語、丁寧語が分からない

尊敬語、謙譲語、丁寧語に関しては日本人でもよく使い方を間違います。「行きます」と言われたら分かるのに、「お伺い致します」と言われると、外国人はさっぱり意味が分からなくなるのです。確かに同じ意味なのに全く違う言い方ですね。

（4）文末の言葉の違いが難しい

文末の言葉の小さな違いも、これまた日本語の理解しづらいところのようです。「わかってる」「わかってるよ」「わかってるけど」「わかってるもん」というのは英語だときっとすべて同じ1つの文章なのでしょう。

（5）日本語英語が分からない

日本語にはたくさん外来語があります。カタカナで表記されて、全てが英語から来た言葉ではないし、本来の意味とは違った意味で使われている言葉が多く、外国人にとってそれらを把握するのは大変です。

（6）数の数え方が多すぎ。

1本2本、1枚2枚という物の数え方の違いもたくさんありますね。キャベツが1玉であったり、たらこが1はらであったり特殊な数え方も多く、すべてを覚えるのは不可能なようです。

（7）一文字で大きく意味が変わる。

「が」と「は」の違いや、「に」と「で」のようなわずか1字で意味が通じなくなってしまいます。この一文字の使い方にも苦労するようです。「どうしてこうなるの？」と聞かれても日本人もきちんと答えられないのが普通です。

受講生は本当に大変ですね。皆さんはどう思いますか。

（インターネットより引用し、一部加筆）

南砂小学校の６年生と楽しい交流

11月22日、今にも雨が降り出しそうな天気の中、南砂小学校を訪ね交流会をしました。外遊びから校舎に戻る途中の6年生が目敏く私達を見つけ、元気に挨拶してくれました。さすが6年生です。この日は台湾出身のＴＩＦＡ受講生、珍さんと妍さんが国際交流班６年生の授業に参加してくれました。先ずは、教室で２０人程の小学生と“すごろくゲーム”です。小学生はゲームのやり方をとても上手に説明してくれました。サイコロは手作りで、ポイントの紙にはユニークで楽しい絵がたくさん描かれ、その紙は床に張り付けてありました。進んだり、戻ったりして、ＴＩＦＡ受講生の２人はすっかり小学生に打ち解け、教室は笑いで一杯でした。まだ15分あるというので外へ出て鬼ごっこです。足の速い男子２人が鬼になり、彼らのパワーは凄いです。運動不足気味の受講生２人はとても敵いません。「ありがとうございました。また来てください。」に笑顔で手を振って学校を後にしました。

ＴＩＦＡ ミカン狩り

11月11日（日曜日）ＴＩＦＡ企画イベントとして、武蔵村山市の内野農園へ行ってきました。参加人数は大人５０名（ボランティア８名を含む）、子供１３名、これだけの人数は企画の課外イベントとしては、初めての経験です。この日は朝から快晴、絶好の「ミカン狩り日和」でした。

上北台駅午前１０時に集合し、ここから約２km、ゆっくり歩いて３０分ほどで到着です。村山貯水池南向き斜面に広がる畑では、晴れた日には富士山も見えます。入園料４００円を払い、園内のミカンは食べ放題、とは言っても１０個も食べれば、おなかがいっぱいになりますよね。狩ったミカンは土産として買い取りとなります。大籠山盛り一杯（約１０kg）を土産にした強者もいました。

ここのミカンの味は、多少酸味が強いですが甘さは十分です。私は市場で販売している甘いだけのものより、こちらの方が好きですね。小春日和で、のどかな一日を楽しく過ごすことができました。帰りは現地解散でした。

木曜教室ランチパーティー

12月２０日木曜日、２学期最後の教室が終わったあと恒例のランチパーティーが行われました。参加者は受講生、ボランティア、それに子供もいれて４５名くらいでした。

齋藤会長の“もったいない”ことにならないようにしましょうという挨拶のあと食事と交流が始まりました。テーブルの上には参加者の皆さんが持ち寄った自家製と思われるひじき、ちくわ、里芋、こんにゃくなどの和風のものや焼きそば、のりまき、サンドイッチなどのほか季節の果物、プリンやケーキも並んでにぎやかな雰囲気でした。

普段はほとんど話をすることがない受講生同士、ボランティアの方々が片手に自分の名前を書いたコップを持って話をしたり、一緒に食べたりして交流しました。12時15分頃、料理もほぼきれいに完食して、箸、皿などのゴミは用意された袋に入れて各自持ち帰りとしました。

ＴＩＦＡ会員動向

【入会者】
木曜教室、西砂教室：なし
土曜教室：齋藤 知秋

【退会者】
木曜教室、土曜教室：なし
西砂教室：大橋 由貴

【休会者】
木曜教室、土曜教室、西砂教室：なし

今後の予定

- 土曜教室 節分：２月2日（土）
- 木曜教室 研修会：２月14日（木）
- 土曜教室 ひな祭り：３月2日（土）
- 木曜教室 ランテパーティー：３月21日（木）

連絡

各部ホームページ

立川国際友好協会	ＴＩＦＡ企画	西砂教室
http://tifa-class.net	http://tifa-k.net	http://tifa-n.net

ＴＩＦＡ会報には掲載していない行事や数多くの写真が掲載されています。ぜひご覧ください。